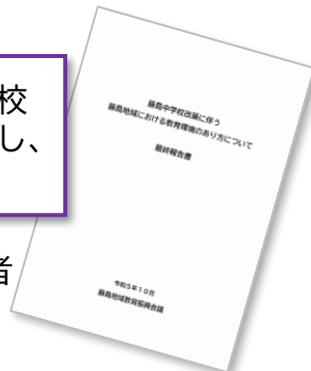


藤島地域をモデルとした小中学校施設一体型の 小中一貫校のイメージ【事務局素案】

藤島地域教育振興会議の提言（要旨）

藤島中改築に早期に取り組み、改築にあたり小・中学校一体型の小中一貫校（義務教育学校）の整備を基本とし、検討すること等が提言された。

あわせて、**学校のイメージ**を示し、地域、保護者等への丁寧な説明が求められている。



鶴岡型小中一貫教育が目指すもの

大切にする「4つのつながり」

つながり①…目標

9年間で目指す子ども像の実現に向け、教育目標や取組みを小中学校が共有する

つながり②…教育課程

目指す子ども像に基づいた教育課程の編成、学年区分の設置など、小中一貫教育を進める

つながり③…活動

児童生徒の交流、教職員の協働の取組みを進め、人間性や社会性を伸ばす

つながり④…家庭・地域

家庭、地域との連携を大切に、地域ぐるみで子どもを育成する

藤島地域の現状

学校の老朽化

- 藤島中は築56年が経過、健全度が著しく低く早急に対応が必要
- 藤島小は築47年が経過。東栄小、渡前小も築35年以上を経過し、いずれの校舎も広範囲に劣化が進んでいる

児童生徒の減少

- 児童数は6年後に約3割減少する（R4：408人→R10：約300人）
- 生徒数は6年後に約2割減少する（R4：250人→R10：約200人）
- 渡前小は既に複式学級化し、東栄小も来年度以降その可能性が高い

R5
鶴岡型小中一貫教育
基本計画を策定

R6
各中学校ブロックの
具体的計画を検討

R7～
小中一貫教育
スタート

鶴岡型小中一貫教育のモデルとする 藤島地域ならではの学校づくり（義務教育学校の場合）

- 概要 : 1人の校長の下、1つの教職員組織が置かれ9年間の系統性を確保した教育課程が編成・実践される
- 児童生徒数 : 約500人（1年生～9年生）※R10年度の児童生徒数を基準に試算
- 学級数 : 想定15学級（小学校相当：9学級 中学校相当：6学級）※
- 延床面積約 : 11,000～12,000㎡（文科省算定基準、現在の藤島中の2倍）※



イメージ図



藤島地域をモデルとした小中学校施設一体型の 小中一貫校のイメージ【事務局素案】

藤島地域における義務教育学校での取組みと期待されること（実践校の成果に基づく）

つながり① 目標

小学校と中学校で「目指す子ども像」
が同じになります

【取組み例】

- ・ 9年間を見通したつながりある一貫教育を行います。
- ・ 9年間を通して子どもたちにきめ細やかに関わります。
- ・ 小学校と中学校の数多くの教職員と一緒に指導支援します。

つながり③ 活動

小学生と中学生、また、小学校と中学
校の先生がさらに交流します

【取組み例】

- ・ 運動会や入学式、卒業式など様々な活動に、小学生と中学生が一緒に取り組みます。
- ・ 教職員の協働を推進する研修や校内組織を運営します。

一人ひとりの個性
を伸ばし、未来を
生きぬく力を育み
ます

大人数で切磋琢磨
し、活動の幅が
広がります

藤島の良さ、鶴岡
の強みを学び、視
野が広がります

9年間の一貫した
教育課程により、
小中ギャップが軽
減します

子どもの心が安定
し、いじめ・不登
校が減少します

教職員の意識、指
導力が向上します

地域に開かれた
学校で継続的に
子ども達と関わ
ります

つながり② 教育課程

小学校と中学校の先生が同じ目標に向
かって連携しながら取組みます

【取組み例】

- ・ 授業や家庭学習のやり方を小中学校の先生と一緒に考えます。
- ・ 教育学的知見に基いた柔軟な学年区分を設定し、6-3制では2回（児童会と生徒会のリーダー経験）が、4-3-2制では4回（各課程、学校全体）のリーダー経験が可能となります。
- ・ 5年生時から教科担任による質の高い授業を導入します。

つながり④ 家庭・地域

家庭、地域との交流を大切にします

【取組み例】

- ・ コミュニティ・スクールと連動し、地域住民の学校運営への参画が深まります。
- ・ 地域団体や地元高校等と連携し、獅子踊りや食・農などをテーマに地域を学ぶ「藤島学（仮）」を行います。
- ・ 保護者会の規模が大きくなり、交流範囲が広がります。

学校施設・ 設備の刷新

- 地場産木材をふんだんに使用した温かみのある校舎
- 標準の規格よりも広い普通教室と特別支援教育にも配慮した各種相談室等の配置
- 藤島小、藤島中敷地を活用した広い体育館、グラウンドの整備

今後の検討と その対応

- 通学区域が広域化した場合のスクールバス運行の工夫（通学の負担軽減）
- 発達段階に対応できる校舎棟、教室等のレイアウトの工夫
- インクルーシブ教育システム（障がいのある者となない者が共に学ぶ仕組み）を意識した特別支援教育の実践
- 保幼小中連携の実践による藤島ならではの教育の推進

